

平成20年 月 日

環境省地球環境局長 殿

住 所:

団 体 名:

代表者名: 印

(※ 団体印がない場合は個人印でも可です。)

(自薦の場合) * 自薦の場合はこちらに記入し、下記(他薦の場合)部分を削除してください。

「平成20年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」への応募について

平成20年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰実施要領に基づき、

部門名 :

活動名 :

に応募します。

(他薦の場合) * 他薦の場合はこちらに記入し、上記(自薦の場合)部分を削除してください。

「平成20年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」への推薦について

平成20年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰実施要領に基づき、

個人・団体名 :

部門名 :

活動名 :

を推薦します。

申請用紙（記入要領）

（整理番号： ）

活動の名称	(⇒ 記入上の注意※1参照)		記入年月日	
部門	(⇒ 記入上の注意※2参照)		自薦他薦の別	(○をつけて下さい) 自薦 ・ 他薦
推薦者名	(他薦の場合に記入して下さい) (*複数可)	推薦者連絡先	(他薦の場合に記入して下さい) TEL: FAX: e-mail: 担当者名:	
推薦者の推薦理由 (他薦の場合に推薦の理由を記入して下さい)				
活動主体の概要				
名称 (代表者)	(団体の場合は、括弧書きで代表者名を記入して下さい。活動主体が複数の場合は連名とするか、代表となるグループを記入して下さい。また正式名称で記入して下さい。)			
住所【必須】	〒			
TEL【必須】				
FAX				
ホームページ	(活動等が紹介されているものがあればURLを記入して下さい)			
設立年月日	(活動主体が設立された年月日を記入して下さい)			
組織	(組織と活動の内容の概要を記入下さい。適宜、参考資料等を添付して下さい)			
応募活動の要旨	(応募された活動の要旨を簡潔に記入して下さい)			
団体担当者氏名 連絡先	氏名	連絡先	TEL: e-mail:	FAX:

活動の概要 (⇒ 記入上の注意※3参照)

目的

(当該活動の目的を記入して下さい)

内容

(参加人数、頻度、活動の内容等応募活動の具体的内容を記入して下さい。活動の実施にあたり財政的支援を受けている場合は、その当該助成団体及び助成額について記入して下さい。また、適宜参考資料を添付して下さい)
(他薦の場合は、書ける範囲内で結構です)

当該活動の
実施期間

(当該活動を始めてから現在までの期間を記入して下さい)

自 年 月 日 ~ 至 年 月 日 (通算期間; 年 月)

活動の効果・社会への波及効果

(⇒ 記入上の注意※4参照)

これまでの受賞歴

(現在までに、当該活動に対して表彰されたことがある場合に、表彰主体・表彰内容・時期等を記入して下さい)

活動の今後の計画

(当該活動を今後どのように展開していく予定なのかを参考としてお教え下さい)

(他薦の場合は、書ける範囲内で結構です)

本表彰の公募をお知りになった媒体

ホームページ 推薦依頼文書等 新聞・雑誌等 その他()

参考資料の添付 (○をつけて下さい)

なし ・ あり ()

備考

<申請書記入上の注意>

1. 申請用紙は、日本工業規格A4サイズでご提出下さい。
2. 申請は、様式に従い書類にて（財）日本環境協会 全国地球温暖化防止活動推進センター宛に、郵送にて平成20年9月17日(水)17:00必着で申し込んで下さい。

3. 記入上の注意

- ※1 <活動の名称> 応募活動の名称を記入して下さい。活動とは、実践・研究活動をいいます。
- ※2 <部 門> 申請部門を次の中から選び明記して下さい。
なお、1つの活動について1部門のみの申請となります。ただし、選考会にて申請された部門よりもふさわしいと判断された部門での表彰もあり得ますのでご了承下さい。
- ① 技術開発・製品化部門
 - ② 対策技術導入・普及部門
 - ③ 対策活動実践部門
 - ④ 環境教育・普及啓発部門
 - ⑤ 国際貢献部門
- ※3 <活動の概要> 地球温暖化防止の観点から申請内容の活動の特色をできるだけ明確に記載して下さい。特に他に同様の活動がある場合には相違点を明確にして下さい。申請内容の活動は継続性があることが望ましいですが、一回限りのイベント的な活動である場合には、その活動の特色を明記して下さい。
また、<内容>欄については、適宜、参考資料（パンフレット、写真、新聞記事の切り抜き等）を添付して下さい。その際には最後に添付資料がある旨記入してください。ただし、要旨や概要の記載を省略した「別紙参照」のみの記入は避けて下さい。
- ※4 <活動の効果、社会への波及効果> 当該活動が地球温暖化防止にどのように貢献するのかを具体的に記入して下さい。また、社会に対してどのような効果が期待できるのかも記入して下さい。
- ①技術開発・製品化部門
 - ・この技術の開発によってCO₂等の温室効果ガスが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。
(従来機器比30%使用電力削減、CO₂を年間△ト削減)
 - ②対策技術導入・普及部門
 - ・対策技術の導入によって、導入から、いままでに温室効果ガスがどれだけ削減できたか。導入した設備をどのように活用してきたか。
 - ・(環境教育の場の提供など) どのような方法で普及に貢献したか。また、その実績はどの程度か。
 - ③対策活動実践部門
 - ・どういった人たちが(誰が)、どのくらいの人々が(延べ何人が)、どれだけの期間(何年)、どういつことを(活動内容)行ってきたか。それによってどういつ効果があったか。
(こういった活動がこのように人に根付いている。CO₂がこれだけ削減できた。)
 - ④環境教育・普及啓発部門
 - ・どういつ人たちに(誰に)、どのくらいの人々に(何人に)、どれだけの期間(何年)、どういつことを(活動内容)行ってきたか。それによってどういつ効果があったか。
(こういった活動が根付いている。CO₂がこれだけ削減できた。)
 - ⑤国際貢献部門
 - ・どこに対し(相手国など)、どのくらいの人々または地域に、どれだけの期間(何年)、どういつことを(活動内容)行ってきたか。それによってどういつ効果があったか。
(こういった活動が根付いている。CO₂がこれだけ削減できた。)

以上